

都市化が進む城下町での絆づくり

柳川市 城内公民館【公立公民館】 館長 大村 直

1. 事業名

城内公民館絆づくり事業

(①福祉活動、②文化活動、③スポーツ活動、④その他の活動)

2. 事業の目的

時代の経過とともに価値観やライフスタイルが多様化したことにより、人間関係の希薄化や孤立化が進んでいるため、公民館活動を通じて、地域の絆づくりや地域づくりを実践する。

3. 事業の実施主体

柳川市立城内公民館

4. 事業予算

平成29年度柳川市からの予算559,000円

5. 実施に至る経緯

公民館＝高齢者の集会場の感があり、本来の姿ではないと思っています。そのためには、若い人達も気軽に参加できる「魅力ある公民館」でなくてはなりません。

城内地区でも、アパート、マンション、借家が増え、都市化が進み、人間関係の希薄化や孤立化が課題となっています。

6. 事業の内容

①福祉活動



(城内地区敬老会) 宮崎県の日向ひよっこ踊り柳川愛好会の皆さんによる余興



(ひとり暮らしの集い) 久留米の音楽サークルの皆さんの指導により、竹を利用しての「バンブーオーケストラ」

②文化活動



(城内地区文化祭(発表会))日頃、公民館を利用しているサークルの皆さんによる発表会風景。中には80代の方も頑張っています。



(小学生ものづくり教室)心の教育事業の一環で、小学生のものづくり教室。ダンボールを使っての武者かぶとづくりに挑戦。全員「おさむらい」になった気分です。

③スポーツ活動



【小学校・公民館合同運動会】



【キンボール大会】

地域の大人と子どもが一緒になって行えるスポーツ行事。この日もいい汗をかきました。

④その他の活動



(小さな音楽会(古賀メロディーアンサンブル))
お隣の大川市からの出演で、皆が知っている懐かしのメロディーで楽しみました。



(男の料理教室) 立ち上げた頃は参加者数に不安、今では楽しみにしている人が増えました。



(通学合宿) 城内小学校児童約18名が公民館に宿泊し、食事や入湯、宿題、ゲームなどして2泊3日の通学合宿を行いました。

7. 事業の成果

私が区長時代からやり続けてきた事は、学校区に転入してきた方に「あなたの得意なスポーツの種目は何ですか?」と尋ねることです。そうすることで、陸上、野球、バレー、サッカー等のデータを表にまとめ、地区の専門委員に情報共有を図るなど、連携・協力してきました。このことが今の活動に結構役立っています。

意外だったことは、アパート、マンションなどに住まわれている人の中に、すばらしい選手や人材がいるものだと気づかされました。また、試合が終わった後の打ち上げは、必ずやっています。そこで絆づくりができます。

8. 今後の課題

公民館を利用する人は、高齢者の女性と決まっているようです。人口の半分は男性であるはず、もっと男性にも利用してもらいたい。さらに若い人達にも参加できる「魅力ある公民館」にしたいものです。

問合せ先

〔〒832-0045・柳川市本町 53-1・柳川市立城内公民館・電話番号 0944-73-9556〕